

男子 81kg 級

準決勝戦第 1 試合

3 谷口 徹[Ⓜ]
(旭化成)

優勢勝

3 西岡 和志
(京葉ガス)

二連覇中の谷口は、ここまで矢寄(了徳寺学園)等強豪をオール一本勝で退けて順調に勝ち上がる。対するは期待の新人西岡。共に左組手。試合は、後半防御に回った西岡に2分46秒と3分40秒に指導が与えられ、リードを保った谷口は終了間際に前に出る西岡の左足にうまく合わせた小内刈でダメ押しの有効を奪う。谷口、三連覇、V4を掛けて決勝戦の舞台に勝ち上がる。

準決勝戦第 2 試合

4 法兼 真
(ALSOK)

背負投

3 花本 隆司
(京葉ガス)

オール一本勝で勝ち上がった法兼に、本大会初出場、進境著しい新鋭花本が挑む。法兼左組み、花本右組みの両者の対戦は、花本が攻勢に試合を進め、44秒、法兼に指導1。続く1分27秒には花本が法兼の攻撃を小外掛で返して有効を奪う。迎えた2分12秒には、低い右背負投で法兼を畳に沈め、決勝戦進出を果たす。

決勝戦

3 谷口 徹
(旭化成)

袖釣込腰

3 花本 隆司
(京葉ガス)

この大会絶好調の花本は、右組みから大外刈、払腰、背負投と多彩な技を繰り出し、受けに回った谷口に1分32秒指導1が与えられる。その後、谷口も攻撃を開始するが、1分57秒、左大外刈を小外掛で返されて、技ありを奪われる。リードを奪った花本はその後も攻撃の手を休めず、谷口の両袖を釣手と引手でしっかり握り、やや強引に右袖釣込腰で谷口を担ぎ、左に振るように回せば、2分25秒、谷口の体は花本の右肩口から大きく転がって畳に沈む。花本、鮮やかな一本勝で初優勝に花を添える。